



開園 40 周年 記念特集号



高嶺園だより

2022.4

発行

障害者支援施設
高嶺園

〒755-0084
宇部市大字川上714-11
TEL(0836)32-1321
FAX(0836)32-1322

真愛
無限
孝明

(無限真愛園是)



社会福祉法人高嶺会
理事長 平野 恒二

高嶺園が開園して、早いもので四十年が経過しました。この間、

行政・各関係機関の皆様のお力添えにより、着実に発展を続けてこられたことを心から御礼申し上げます。高嶺園は「この子を残して死ねない。」「この子を残しても安心して死ぬることのできる障害者施設を。」というご家族の想いに応え、ウベニチ新聞社(現在の宇部日報社)がキャンペーンを展開され多くの市民の皆様が賛同をいただき多額の浄財を基に、昭和五十七年五月、身体障害者

療護施設「高嶺園」が開園することになりました。

三十周年以降を振り返りますと、役員と園が、園是「無限真愛」の下、より良い利用者支援のため最新の福祉機器の導入、職員に健康に笑顔で働いてもらうため酸素ルームなどのやすらげる設備の新設、井戸水や太陽熱利用給湯設備などの災害に対する設備の充実、人口減少問題対策のための利用者定員を七十人から六十人に変更するなど日々情勢を鑑みながら進化を続けてまいりました。

本日、開園四十周年という節目を迎え、より一層利用者の皆様の笑顔と職員の笑顔がいつぱいの高嶺園となるように精進してまいりたいと思います。

今後とも、利用者の皆様が安心安全に過ごしていただけるように、充実したサービスの提供に努めてまいりますので、皆様の暖かいご指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



祝辞



山口県知事
村岡 嗣政

高嶺園の開園から四十年という記念すべき年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

昭和五十七年の開園以来、四十年の長きにわたり、利用者が地域との連携を図りながら安心して暮らせるよう支援を続けられているところであり、これまで本県の障害福祉の向上と発展に果たされてきた御功績は誠に大きいものがあります。

これもひとえに、歴代の理事長さんや施設長さんをはじめとする役員並びに職員の皆様方の深い御理解と御熱意、更には地元宇部市並びに多くの関係する皆様の御支援の賜物であり、深く敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、昨年五月の障害者差別解消法の改正に加え、東京パラリンピックの開催を契

機として、障害や障害者に対する関心と共生の意識が一層高まっているところです。

本県では、こうした国の動きや環境の変化を踏まえ、県の総合計画である「やまぐち維新プラン」において、「障害者が活躍する地域社会の実現」を重点施策に位置づけ、障害者の社会参加の拡大や地域生活の支援等に、積極的に取り組んでいます。

このような中、貴園においては、常に利用者ご意思や人格を尊重した自立支援と社会参加の促進に努められ、また、地域や家族との結びつきを大切にしながら、地域の交流行事などに積極的に取り組まれておられますことは、本県が目指す共生社会の実現につながるものとして、大変心強く思っております。

皆様方には、この度の四十周年を契機に、これまで培われた知識や経験をもとに、サービスを更に充実され、地域の皆様の厚い信頼に添えていただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴園の今後ますますの御発展と、役職員の皆様方並びに、施設の利用者や家族の皆様方の御健勝、御多幸を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

花見



平成 28 年 4 月



平成 16 年 4 月

祝辞



山口県宇都市長
篠崎 圭二

社会福祉法人高嶺会 高嶺園が、このたび開園四十周年を迎えられましたことから心からお慶び申し上げます。

高嶺園は、昭和五十七年に多くの方々の善意とご尽力によって開園されて以来、障害のある人が地域の中で安心して生活できるように、地域に開かれた愛情とぬくもりのある支援を実施されています。長年にわたり本市の障害者福祉において中心的な役割を担っていただいておりますことに、心からお礼を申し上げます。

また、福祉避難所としての機能整備や、災害時に避難所で使用可能な移動式の多機能トイレを考案され、ときわ公園に設置いただくなど、社会貢献活動に積極的に取り組まれています。私も貴園を訪問させていただいた際には、無限真愛の園是のもと取

り組まれている姿から、福祉の原点を学ばせていただきました。歴代の理事長様をはじめ職員の皆様方の並々ならぬご尽力に心より敬意と感謝を申し上げます。

本市は令和元年八月に先導的共生社会ホストタウンに認定され、ユニバーサルデザインのみちづくりと心のバリアフリーに取り組んでいます。一方で、近年の障害者を取り巻く状況は、コロナ禍の影響や法改正等により大きく変化していますが、誰もが生き生きと暮らせる共生社会の実現に向けて、障害に対する市民の理解促進、その人らしさを尊重し必要な支援が提供できる体制づくりなど、積極的に取り組んでまいります。

さて、本市は、昨年十一月一日に市制施行百周年を迎えました。令和四年度からは、先人達が築き上げた「共存同栄・協同一致」の精神のもと、次の百年に向けて、市民の皆様とともに「ふるさと宇都」の発展に取り組んでまいります。今後ともなお一層の力添えを賜りますようお願い申し上げます。結びに、高嶺園の益々のご発展と職員の皆様方のご健勝並びにご多幸を心からお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

グリーンカーテン



平成28年7月

祝辞



社会福祉法人
山口県社会福祉協議会
会長 隅 喜彦

障害者支援施設高嶺園が開園四十周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

高嶺園におかれましては、昭和五十六年（一九八一年）に社会福祉法人高嶺会として設立の認可を受けられ、翌年の昭和五十七年（一九八二年）に高嶺園を開園されて以来、地域の障害者福祉を支えてこられました。

今日では、地域に根ざした障害福祉サービスの拠点として、障害者のニーズに応じたサービスの充実をはじめ、障害者・高齢者が不便なく利用できるユニバーサル多機能トイレを普及されています。開園に携わられた方々、また四十年にわたり施設運営を担ってこられた役職員の皆様方の御尽力に深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

さて、国では、「地域共生社会」の実現が

掲げられ、あらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニティづくりが進められております。

こうした中、本会では、県内の市町社協と手を携え、「福祉の輪づくり運動」に取り組み、「住みたい地域で 誰もが 安心して 心豊かに 暮らし続けることができる まちづくり」の実現をめざして活動を展開しています。

現在のコロナ禍においても、生活困窮者をはじめ多様な地域生活課題を抱える方々に対する支援や、社会的孤立を防止するためのさまざまな地域福祉活動が停滞することのないように努めています。

我々、社会福祉協議会としましては、地域住民をはじめ、障害者福祉施設・団体等との連携強化をより一層図るとともに、新たな時代の地域ネットワークづくりを進めてまいります。

どうか皆様方におかれましては、今後とも地域社会の一員として共生社会の実現をめざし、障害者福祉、地域福祉の充実にお一層の御尽力、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社会福祉法人高嶺会 障害者支援施設高嶺園のますますの御発展をお祈りするとともに、皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

花の苗贈呈式



令和元年 6月



平成28年 6月

ごあいさつ



社会福祉法人高嶺園
障害者支援施設高嶺園
施設長 綿谷 強

障害者支援施設高嶺園は、開園四十周年を迎えました。

改めまして、皆様おめでとうございます。これもひとえに開設前からご支援いただきました宇部日報社さん、行政を始めとした関係各位の皆様、および高嶺園と共に歩んでくださった利用者さん・ご家族・地域の皆様の多大なご尽力のおかげと心から感謝を申し上げます。

私は宇部青年赤十字奉仕団委員長時代に「宇部市肢体不自由児者父母の会」立上げ当初より支援を開始し、その後会の皆さんとの親子入り混じったの友達活動を行い、実践を支えてきた一人であります。

立上げ当初の会の皆さまの目的の一つに、「私たちは自分たちだけのために、親の会を作り活動したいとは思っていません。

ん。

この先障害を持って産まれて来る子はいらっしゃるでしょう。

その親子のためにも、少しでも前進し環境を整え、悩みの苦しみのレベルを下げたい。」

この考えを大切にしてこられたことに感謝し、これを原点として現在まで活動し続けてこられたものと考えます。

平成二十一年九月、施設長就任以来「ふつうをもとめて」を基本姿勢として何があろうとも利用者職員のためにと、ぶれずに取り組んできたことが五つあります。

一つ目は「音」です。迷惑となる不愉快な大きな声や音を抑え、心地良いと感じる音を楽しみ、癒しを感じながら穏やかに生活できるようにと取り組んでまいりました。



このため、騒音から逃れることができる半防音の部屋を各所に三室設置しました。また、訓練室には宇部市内でも類を見ないほどハイレベルのオーディオ設備を設置しています。

二つ目は「臭い」です。施設特有の臭いを出さない施設にする、発生源は主に食事臭・ヨダレ臭・排泄臭ですが、これらを取り除くには換気と空気清浄器およびオゾン消毒が有効ですがすでに設備済みです。いまは、全室に加湿空気清浄器を設置し、オゾン消毒時間を設けるなどして、快適な環境で爽やかに過ごしていただいています。

三つ目は「外気温度と室温と湿度のバランス」です。この取組は朝晩の換気を始め、夏は冷え過ぎず冬は温か過ぎない室温を心がけ、外出の際に急激な温度変化で体調を崩さないようにいつでも室外に出れることを目的とした温度設定の継続です。

これは、夏でも冬でも外出したくなる環境と身体作りですが、暑さ寒さに慣れた身体は、目的達成以上に利用者さんの健康維持に寄与していて、風邪などの発生率の極端な低減および入院日数の大幅な短縮が明確な数字として表れ、予想外の効果を得ています。

四つ目は「おしゃれ」です。利用者さんがお正月やクリスマス、祭りの前にはよそいきの服を部屋にかけ、楽しみな気持ちをもりあげたり、設置した大きな姿見でおしゃれをチェックしたり、自分の身だしなみに関心を持っていただけるようになりました。

いまでは「施設の定番であるジャージ生活を」高嶺園は脱皮して、外出時の自分のイメージを楽しんでいただき、たまにはおしゃれしてショッピングや食事へお出かけスタイルで外出していただいています。

五つ目は「笑顔」です。『自分が笑えば周りも笑顔になれる。周りが笑えば、自分も笑顔になれて心豊かな穏やかな生活が出来る』という想いで、利用者の皆さんにも職員同士でも笑顔で声かけを徹底しています。

「いつも自分を見てくれる人がここにいるよ、みんな大切なひとりなんだよ」と仲間を思いやり、笑顔で生活をしていけるように心がけています。

私が着任して十年かかりましたが、日々利用者さんと笑顔でハイタッチを交わしていますと、設備の充実とともに「ふつうの生活」が形になってきたことを感じています。

今後は、職員の高齢化・就労人員の減少対策として行っている職員の更なるレベルアップ、それに負けない満足度のいく設備、職員の処遇改善を一層充実させ、地域に必要とされる施設作りに邁進していきたいと考えています。

このたびの開園四十周年記念事業として、高嶺園はバラを約七十本植栽しました。バラの花言葉は「愛」です。高嶺園の園是は「無限真愛」です。

植栽したバラが咲き誇り、今まで培ってきた職員と利用者さんとの関係も、更にたくさん笑顔の花が咲くよう、この先も頑張っていきたいと考えます。

どうぞ本日もお帰りの際には、新しく植栽した園内のバラをご鑑賞いただけますことをお願いいたします。

最後になりましたが、今後とも高嶺園が地域の皆様と一緒に歩むことができるとともに、皆様方の変わらぬご支援ご指導賜りますことをお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



山口ゆめ花博



平成30年10月

祝辞



保護者会会長
鳴瀬 良一

高嶺園が昭和五十七年五月に開園して四十周年になりますこと、大変嬉しく思います。

当時のことを振り返ってみますと、私の両親が宇部市肢体不自由児父母の会に入会していましたが、「親亡き後安心して託せる施設の建設」をスローガンに障害者施設建設資金集めに参加して、毎夜夕食時に活動の苦労話をしていたことを昨日のように思い出します。

当初は賛同者も少なく悪戦苦闘していたようでしたが、天の助けともうしますか、この願いに即刻対応していただきましたのが、故ウベニチ新聞社 藤井孝明社長様でありました。

このキャンペーン拡大のお陰により国、県、市、日本自転車振興会、宇部市青年赤

十字奉仕団のご協力を得る事が出来、また宇部市民の皆様方の温かいご厚情を賜ることになり深く感謝いたしております。

こうして、施設開園準備が急速に進み、我家におきましても両親の笑顔を見ることが出来るようになり、私も本当に嬉しかったことを覚えています。

あれから四十年皆様方のご苦労のお陰をもちまして運営のほうも順調に推移し、安心して次の次第でございます。

ここ最近では目覚ましい事業施設拡大に注力され、次のような大きな功績が残り、大変素晴らしいことでもあります。太陽熱利用給湯設備、太陽光発電設備、井戸設備、介護リフト等の福祉用具の充実、ねむりスキャン導入等であります。

保護者会としましても利用者が今後とも引続きより楽しく生活できますように恒例の夏祭り、ふれあい祭り、クリスマス会等に沢山の家族が積極的に参加し絆を深めたいと思います。

最後に、平野理事長、綿谷施設長のもと職員の皆様の日々のご努力に感謝し、園是として「無限真愛」の実践により益々発展し未来永劫輝いていくことを祈念してご挨拶とさせていただきます。

40周年記念(私の花)



令和4年3月

高嶺園のあゆみ

昭和56年 8月31日
昭和57年 4月20日

社会福祉法人高嶺会の設立
身体障害者療護施設
高嶺園工事完成



昭和57年 5月1日
昭和57年 5月7日
平成2年 3月30日

身体障害者療護施設高嶺園開園（入所定員 50名）
開園式
3棟増設工事完成



平成2年 4月1日
平成10年 8月2日

入所定員 70名に増員
こうりょう身体障害者
デイサービスセンター工事完成
事業開始（定員15名）



平成24年 5月1日
平成24年12月

高嶺園開園 30周年
看護師 24時間配置開始
夜間急変の早期発見、早期対応
ができ、利用者様に健康で穏や
かに過ごして頂くことができる
ようになりました。

平成26年 5月

居室天井リフト設置
ノーリフティング（抱えない介
護）をめざし、利用者の安全、
職員の腰痛予防に貢献。（現在、
天井リフト 20台、床走行リフ
ト3台稼働中）



平成26年11月
平成28年2月

ぼっこ部屋完成（骨粗しょう症対策としてひなたぼっこをする部屋です。）
太陽熱利用給湯設備設置 通常の入浴以外に、大規模災害時に入浴が可能です。



平成28年4月
～6月

熊本地震災害派遣
熊本県身体障害者能力開発センターへ交替で13名の職員を派遣、
夜間の生活支援を行いました。



平成28年12月
平成29年2月

敷地を宇部市より購入
太陽光発電設備



平成29年3月

カーポート設置(15基)
元利用者のご家族より寄贈をいただき、災害時には避難所や炊き出しの場として使用します。



平成29年 3月

防犯カメラ設置



平成30年 9月

移動式多機能トイレお披露目会

災害時などに設置場所を問わない移動式多機能トイレを社会にアピールし、普及させたいと考えます。(現在、ときわ湖水ホール(東駐車場)と高嶺園西側広場に設置)



平成31年 3月

非常用自家発電設備設置

令和元年 5月

日本赤十字社より金色有功賞受賞



令和元年 5月

支援センターにスマイルーム完成



令和2年 3月

職員のロッカールームと食堂を作りました。

令和3年 4月

施設入所定員70名を60名
生活介護定員85名を72名に変更

令和4年 1月

眠りSCAN及びSCANeye導入

ベット上の利用者の異常を感知し、パソコン画面やスマートフォンに警報を通知、迅速な対応ができるようになりました。
また、居室のベット上にカメラを設置して映像を記録し、「眠りSCAN」と連動して可視化が可能になりました。



高嶺園40周年記念事業

高嶺園開園40周年記念事業として利用者さんの散歩道とバラの花壇を職員自ら作りました。

北側バラ園



ユンボで掘削作業



土壌改良



植栽後の様子



南側バラ園



ユンボを使って土おこし



基礎作り



植栽後の様子



基礎などの土木工事やアーチの組み立て、植え付けも職員が行いました。



楽しい行事

夏祭り



みんなで踊りました!



自慢の歌声を披露♪



花火たのしい

きれいに
打ち上がった花火



林芳正 国会議員にも
ご来賓いただきました

冷たくてもちいい♪

プール



涼しい~~



外出支援

買い物
楽しいよ!



楽しい行事

家族と一緒に 楽しいひとときを過ごしました

ふれあい 広場



きれいに揃った
フラダンス♪



最高の天気です!



新鮮なお魚
おいしかった!



魚の解体 ショー



カンパニー



バーベキュー



おいしいね~



楽しい行事

クリスマス会



まちにまった
本番のステージ!

ボランティアの方々との楽しい時間



綺麗な音色が
響きました♪



えっ! 頭が!

マジックショー

新春 ゲーム大会



BINGO						
13	51	48	35	1		
4	8	67	5	17		
62	3	★	23	45		
30	38	20	11	40		
52	14	42	49	65		



イエーイ! 当たったよ★



初詣



あけまして
おめでとうございます



ご厚志

ありがとうございます

花ひろば Evergreen 様

花の苗寄贈



連合山口西部地域協議会
宇部地区会議 様

ご寄付を頂きました



お風呂とリフト
体験をしました



川上校区子ども会 様

タオル寄贈



お祓い
に行きました

公益社団法人 24時間テレビ
チャリティー委員会 様

福祉車両贈呈式



新利用者の紹介



北村 友麻 様
令和三年 十月一日入所



国知 重雄 様
令和三年 十二月一日入所



船津 幸男 様
令和三年 十二月一日入所



宮田真由美 様
令和四年 二月一日入所



吉永 拓弘 様
令和四年 四月一日入所

宜しくお願い致します



こうりょう障害者支援センターより



四十周年に向けて、支援センターの皆で、プラントナーに花の苗や球根を植えました。

利用者さんからは「何色の花が咲くかな?」「きれいなお花が咲くのが楽しみです!」といった声がたくさん聞こえてきます。

花が咲いて玄関を彩ってくれるのを、支援センター一同楽しみにしております。



利用者表彰 桶田様

いつもみんなのために
ありがとう

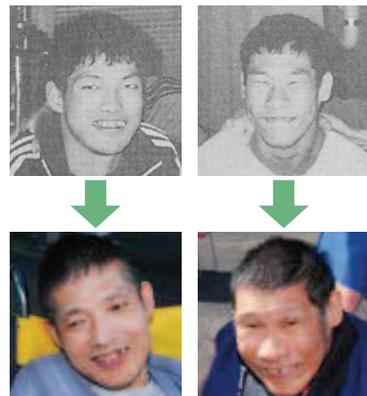


桶田浩二様は、天気が良く暖かい日にはグラウンドを電動車いすで散歩されます。

散歩中は紐で括った磁石を車いすで引き、グラウンド内に落ちていた釘などの鉄くずを回収されています。

園内の車がパンクしないようにするため職員一同大変感謝しており、このことに対して施設長より感謝状が贈られました。

編集後記



高嶺園も四十周年を迎え、開園当初に入所された利用者も少なくなり、河村様と藤津様が一番長い利用者となりました。

同様に、当初からの職員も皆、定年となり再雇用の職員として働いております。

年と共に新旧入れ代わりはありますが、変わらないものもあります。

園是の「無限真愛」です。

「損もない、得もない無限の愛、親にも勝る真の愛」我々職員は、この言葉を胸に利用者さんが笑顔になり安心して生活できるように努めたいと思います。

(沖野)